

「音戸まちづくりセンター」「乙女座」では
客席に設置する35mm映写機から出るリールの
回る独特の音が会場を包み込み、懐かしさ
を感じながら昭和の名作をご鑑賞いただけます。

フィルム
上映

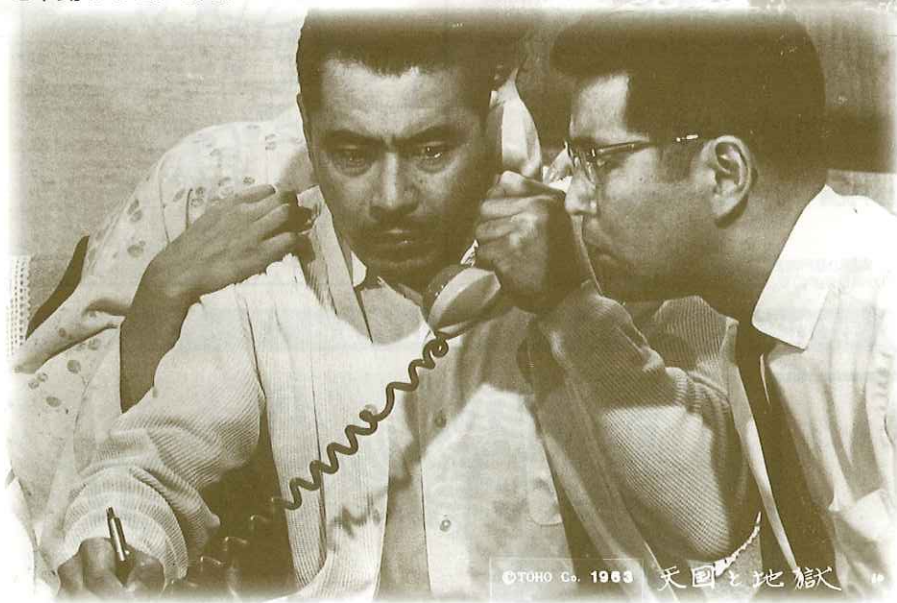
黒澤明 監督傑作特集

用心棒

1961年 東宝(110分)

出演:三船敏郎、仲代達矢、山田五十鈴、司 葉子

ダシール・ハメットのハードボイルド小説『血の収穫』を大胆に翻案、三船敏郎演じる浪人の痛快無比な姿を描いた黒澤明による大ヒット時代劇。舞台は上州の宿場町。跡目を巡る清兵衛一家と丑寅一家との抗争で、無法地帯と化していた。そんな宿場に流れ着いた凄腕の浪人、自称・桑畑三十郎は、両家の親分に自ら用心棒として売り込みながら、彼らを手玉に取っていく…。海外でも評判を呼び、盗作騒ぎも起きた『荒野の用心棒』(1964年、セルジオ・レオーネ監督)は、イタリア製西部劇(マカロニ・ウェスタン)のはしりとなった。本作の成功により、黒澤は世界のKUROSAWAの位置を不動のものにした。



天国と地獄

1963年 東宝(143分) ※途中休憩あり

出演:三船敏郎、仲代達矢、山崎 努

アメリカの推理作家エド・マクベインの「キングの身代金」を映画化したものであるが、連れ去る子供を取り違えたとしても、その犯人の脅迫は成立するとヒントを借りただけで、ほとんどのトリックは黒澤をはじめとする脚本家たちのアイディアである。この映画のクライマックスは二つ。一つは特急こだまのトイレの窓から身代金の3000万円を投げ出す場面。もう一つは、極刑を課すために犯人を泳がせ、新たな殺人現場におびき出す場面である。この作品で黒澤は、サスペンス映画に斬新な演出を試みている。<天国>に住む富豪と対照的に<地獄>に住む青年医師を演じた山崎努は、この作品で一躍注目を浴びた。

呉ポポロ(定員209名)	音戸まちづくりセンター(定員506名)	乙女座(定員140名)
1/22 金	1/23 土	1/24 日
『用心棒』 10:30~(開場/10:00) 『天国と地獄』 13:00~(開場/12:30)	『用心棒』 11:00~(開場/10:30) 『天国と地獄』 14:00~(開場/13:30)	『用心棒』 11:00~(開場/10:30) 『天国と地獄』 14:00~(開場/13:30)

入場料(税込)〈1作品〉500円

当日販売 全席自由・完全入替制・未就学児童入場不可

※前売券はありません。当日受付でお支払いください。 ※再入場はお断りいたします。
※各会場とも定員に達した際にはご入場をお断りする場合がございます。予めご了承ください。
※入場券の取扱いは各会場ごととなります。入場券は各会場の初回上映30分前より販売いたします。
※『天国と地獄』は途中休憩がございます。

【お問合せ】呉市文化ホール 〒737-0051 呉市中央3丁目10-1 TEL(0823)25-7878 <http://kure-bunka.jp/>

【主催】呉市優秀映画鑑賞推進事業実行委員会、文化庁、東京国立近代美術館フィルムセンター 【協賛】松竹プロードキャストイング株式会社 【協力】株式会社オーエムシー

呉ポポロ1/22 金 (定員 209名)

旧市内の映画館で懐かしく贅沢な時間を味わってください。



映画といえば「呉ポポロ」。長年、お子様からお年寄りまで地元の人に愛され続けています。映画のデジタル化が進み、フィルム上映のできる映画館が少なくなっている中、今回は、黒澤明監督の2作品をフィルムで上映します。映画館で、懐かしく贅沢な時間を味わってください。

〈アクセス〉
本通3丁目バス停 徒歩2分
JR呉駅から東へ徒歩8分
※駐車場はありません



呉市中通3丁目5-3 TEL:0823-24-6609

音戸まちづくりセンター1/23 土 (定員 506名)

現代建築家の世界観の中で昭和の名作映画の鑑賞会。



世界的に有名な建築家 隈研吾氏が手がけたコミュニティーセンター。2階のテラスからは音戸大橋や島々が眺望でき、絶好のロケーションを活かしたモダンな作りの建物です。外観だけでなく、室内の壁面も木ルーバーで覆われています。現代建築家の世界観あふれる建物の中で、昭和の名作映画をご鑑賞ください。たくさんの方にご来場いただけるよう、無料の臨時駐車場もご用意しています。

〈アクセス〉
呉倉橋島線 音戸市民センターバス停下車 徒歩5分

※臨時駐車場(無料)は旧音戸公民館跡地をご利用ください。
(利用時間:10時~17時)



呉市音戸町南隠渡1丁目7-1 TEL:0823-51-3322

乙女座(豊町御手洗)1/24 日 (定員 140名)

安芸灘とびしま海道を渡り、豊町の「乙女座」でのんびり映画鑑賞。



豊町の御手洗地区にある昭和12年に建てられたモダン劇場。戦後は昭和30年代まで映画館としてにぎわいました。今年度は、日曜日の開催。御手洗地区の観光とあわせて「乙女座」で昭和初期にタイムスリップしてみませんか。

【呉方面からのアクセス】

瀬戸内産交バス 中国労災病院前→豊・豊浜・浦刈行き「御手洗港(みたらいこう)」バス停下車すぐ

〈時刻表〉
●中国労災病院…御手洗港 ●御手洗港…中国労災病院
8:26→10:01 15:50→17:25
9:15→10:50 17:34→19:09

※平成26年4月1日現在 実際の運行時刻はご確認ください
※駐車場あり(台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください)



〔お問合せ〕 呉市文化ホール ☎0823-25-7878 <http://kure-bunka.jp/>

御手洗で「小商店」しませんか?



今年11月に「小商店」としてリニューアルした「潮待ち館」では貸しスペースへの出店者を募集しています。町並み保存地区の中心部にある「潮待ち館」で「小商店」にチャレンジしてみませんか! 詳しい内容については事務局までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
重伝建を考える会事務局
(潮待ち館)
〒734-0302
広島県呉市豊町御手洗187-1
☎050-3368-5512
△<http://www.yosoro.com>
(「合同会社よ〜そろ」HP)

土曜の朝市

毎月第1土曜日開催
10:00~
(売り切れ次第終了)

場所
音戸の瀬戸ふれあい広場
(観光文化会館うずしお横)

音戸町まちづくり協議会
電話0823-52-1111



おんど清盛くん